

豊かな里山 次代へつなげ!

【主な記事】

- 1面 里山を駆ける子どもたち
- 2面 第4回久重豊穡祭
- 3面 区民運動会、防災訓練、里山ウォーク、もたもた旅行、水質問題
- 4面 クロスワードパズル、久重 natural チーム受賞

久重地域連携協議会 ニュース

12月1日	久重人口
	世帯人口
全体	494 1023
	(-1) (0)
久礼野	140 298
重倉	354 727
()内は前月との比較	

—第62号—
2024.12.25 発行
発行責任者:林照男
編集:情報委員会
高知市重倉 1596-134
電話 090-4501-3190

ホームページ:「久重連携」で検索ください。



久重小学校児童 冬の恒例ピツタリ持久走の風景

撮影: 武林由希子情報部員

千円の商品券が10人に当たる

お年玉プレゼントクイズ

昨年は59通の応募があり10人が当選。約6人に1人が当たるといった高い当選確率で人気のクロスワードパズルを今年も提供!

=4面にクイズと応募方法

地域の若者がこれからも大いに活動できるようにお互いを認め合える久重地域でありたいですね。

もしさを感じます。

久重地域はどうでしょうか。高齢化が進んでいることは他の地域と同じですが、若い世代が地域の活動にかかわっているところ、他の地域にない特筆すべき点ではないでしょうか。久重 natural チーム・久重 youth を中心に地域に関わっているということは本当にうれしく思えます。もちろん経験の乏しさや未熟さはありませんが、それを超えた頼もしさを感じます。

町内会の運営がどの地域でも厳しいと新聞等で見たことがあります。メンバーの高齢化や町内会そのものに入らない住民も増えていると聞きます。

お互いを認め合える
地域をめざして

第4回久重豊穰祭

お越しいただきありがとうございました



うみせん



▲久重銭太鼓保存会さん

▲アガパンサスさん

▲山中佑太さん

▲久重保育園園児さん

▼久重体育会さん

▼久重保育園保護者会さん

▼緑ヶ丘団地さん

▼里山やすらぎヨガさん



▼otomebiyoriさん

▼久重小PTAさん

▼久重保育園さん

▼地場産コーナー



▼piccoloさん

▼RIVER VILLAGEさん

▼緑ヶ丘 高橋さん

▼緑ヶ丘 クラフトバンドフルーチェさん



餅投げの様子

林会長と神谷副市長

▲TeamSTREETさん

▲久重自主防災連合会 & 久重 natural チーム

▼久重 youth



▲久重で作られたたくさんの野菜・果物・お菓子・加工品

▼後片付け、お手伝い助かりましたありがとうございました

うらがわ

▼餅担当永野家のみなさんと久重 youthがお手伝い

▼のぼり旗設置

▼ちょっと休憩～



▶大谷翔平選手のグローブ

11月16日(土)19名の参加のもと里山ウォークが開催されました。今にも雨が降り出しそうな微妙な状況でしたので、最後までもってこれと祈りながら出発しました。

第5回 里山ウォーク



今回は初めて参加された市職員の方々がいたので、ホタルが多く飛来する場所や久重小学校の新社舎建設時に仮校舎のあった場所、久重YOUTHが中心に整備を進めている「ひだまりの丘」など、行く所々で説明をしながら歩を進めました。参加した子どもたちは、カラスウリやムカゴ、サワガニなど目に入るものすべてに反応し、楽しんでくれました。今回初めて行った「英志台」は樹木が大きく成長して街並みがよく見え、参加者からは「ここも整備して、高知の市街地から太平洋まで見えるようになったらいいね。」という声も上がっていました。最後に川内神社で記念撮影をして、学校に帰りついたと同時に雨が降り出しました。

朝早くからお見送りに来てくださった教職員の皆さん、移動トイレや各所での安全対応をしてくださった橋詰茂さんありがとうございました。

しまなみ海道を満喫

第5回 もたもた旅行

10月13日、今年も定員の20人でまったり気兼ねなくしまなみ海道を満喫してきました。歴史の重みを感じる大山祇神社、よしうみバラ公園、瀬内海を一望する亀老山展望台を巡ってきました。体力的に一般のツアーには参加しづらくなった方からは、「こんな旅行は年寄りにはありがたい。来年も行きたい。」と期待を寄せていただきました。



▲よしうみバラ公園で集合写真

令和6年度 避難所開設・炊き出し訓練



▲避難所開設訓練の様子

今回は保護者参観日と合同の訓練という事で子どもたちにも各チーム長を経験して頂きました。そして各種トイレ、段ボールベットをみんなで無心に組み立てました。楽しそうでも私も童心に返りその中の一人になつておりました。多くの皆様にご協力いただき、心からお礼を申し上げます。有難うございました。

10月26日、コロナ過での3年と、昨年は一宮・薊野・久重町内会連合会主催での防災イベントとして、イレギュラーな避難所開設・炊き出し訓練でしたので久重自主防災連合会の主催としては4年ぶりの開催となり役員の皆様も以前の記憶をたどりながら準備に臨みました。そして久重小学校細谷校長先生、高松教頭先生、地域防災推進課のお二人も異動後初めてのことで、打ち合わせを重ねタイムスケジュールを作りました。

久重自主防災連合会 会長 二川益行

第28回 久重区民運動会



▲頼もしい応援団



▲シュツシュツとなう

10月20日、第28回久重区民運動会が開催されました。優勝は大会史上初の1,000点越えを成し遂げた、重倉Bチーム。どの地区も老若男女、力を合わせて頑張りました。参加者からは「来年までに”縄ない”練習しちよー！」という声も。期待しています！



張りどころ！
▶ここが踏ん

産廃処分場火災 周辺の環境調査を市に要望 10月末に2地点で採水、分析結果待ち

8月初旬に重倉地区の高知リサイクルセンター産業廃棄物処分場で発生した火災によって懸念される環境被害について、連携協議会と重倉地区会、緑ヶ丘団地町内会の連名で9月30日、周辺域での環境調査(大気・水質・土壌測定)とそれらの結果を踏まえた住民説明会の開催や事業者への指導・勧告するよう市に要望活動を行いました。

市側は環境部長ら幹部が対応。市側も廃プラスチック類の不完全燃焼による有害物質ダイオキシン類の発生が懸念されるとして、こちら(住民側)の要望に沿った地点での採水調査の実施に応じました。これを受けて地形の特性や地下水脈などに精通した「相愛」の社員立ち会いのもと、市環境保全課と検査業務委託先の「東洋技研」の各担当者との協議したうえで採水地点を絞り込み、10月31日に現地で採水を行いました。

採水地点は、いずれも産廃処分場の東側にあって敷地内の井戸水を引き込んでいる重倉公民館と、処分場辺りから流れ落ちる沢の水を生活用水としている住戸の井戸(門平工務店西側の最奥部)＝写真＝の2カ所です。処分場につながる通路入り口付近の太郎団地については、地下水脈の流れから汚染の心配がまずないとの見立てを得て、今回は採水を見送っています。「東洋技研」によると、検査結果は早ければ年内、遅くとも1月中には判明すること。連携協議会ではその結果を待って、その後の対応方法を話し合う予定です。



〓お詫びと訂正〓
久重区民運動会のパンフレットで協賛企業様である高新販売オリコミ社様の、社名の記載に間違いがありました。正しくは、高新販売オリコミ社北部販売所様です。大変申し訳ございませんでした。久重体育会より

